

平成26年度広島県合同輸血療法研修会

輸血前後感染症検査の取り組み

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院
平成27年1月31日(土)
広島県庁本館6階講堂

輸血部会 輸血適正使用判定シート

手術

報告日 2014年11月20日 主治医 沖 修一
ID 勝者氏名 勝者姓名 上部消化管出血
薬剤1 薬剤2 薬剤3 薬剤4
輸血を要する病状 優性出血性貧血・消化管Hb(6.0g/dl)
輸液製剤使用の根拠 血球数:218万、ヘモグロビン:9.4g/dl、ヘマトクリット:27.7%
Ir-RB
Ir-RB
Ir-PC
FFP-I
FFP-I
自己血

指示医 沖 修一
当部会の判断 不適正使用 判断年月日 2014年11月21日
当部会判断の根拠 ヘモグロビン値は輸血が必要なほど低下しておらず、明らかな動悸、急切れ等の貧血症状がないようです。貧血パターンは高色素高粘性であり、ビタミンB12あるいは葉酸欠乏による障害が考えられ、これらの投与で改善する可能性があります。輸血が必要な状況とは考えられませんので今後同様の症例があればご検討下さい。

輸血責任医師 江本 克也

はじめに
—これまで感じた輸血前後の感染症検査の問題点—

- ・輸血後感染症検査を実施している施設が少なく、普及していない
- ・当院でも、輸血後感染症検査の実施率が低い
- ・輸血後感染症について、十分院内で周知されていない現状がある

当院の輸血に関する取り組み

平成23年10月 日本医療機能評価機構認定(Ver.6.0)
輸血責任医師の任命
平成25年4月 輸血部会発足
平成25年6月 自己血貯血開始
平成25年12月 輸血後の感染症検査開始
平成26年4月 輸血部会ニュース発行開始
平成26年11月 日本輸血・細胞治療学会I&A受審

当院の紹介

- ・ 病床数: 110床(急性期68床、回復期42床)
- ・ 診療科
脳神経外科 脳神経内科 循環器内科 形成外科
消化器内科 リハビリテーション科 外科
- ・ その他
DPC対象病院
入院基本料 7:1看護
平均在院日数 14.6日
職員数 236名



輸血部会の活動

- ・リスクマネジメント委員会の下部組織
- ・構成メンバー
輸血責任医師1名、副部長(内科医)1名、医療安全管理責任者(看護師)1名、看護師2名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、事務員1名 合計8名
不定期: 血液センター担当者がオブザーバーとして参加
- ・部会開催: 月1回、30分
- ・活動内容
輸血件数報告、使用済み製剤に関する輸血適正使用判定マニュアル改訂、輸血に関するインシデント報告や対策の周知徹底、研修参加報告、輸血関連情報の伝達等

輸血部会ニュース
献血・受血・輸血検査外来科病院 総合部会

輸血前後の感染症検査について

当院は、平成25年1月から献血後の感染症検査を実施しています。1回の献血時に、実施した検査が下記になります。費用はかかりません。献血時は必ずお読みください。

そもそも献血後の感染症検査の流れを知っていますか？

献血の流れ

①献血時：まずはHCV、HBV、HIVの検査を実施するので、献血直後に完了し、室内の検査室で実施しています。

②献血の流れは？

献血の流れは、献血前に献血登録を済ませてから、献血用具を清潔に保つため、1週間のタイムスケジュールです。

③献血後：献血登録を済ませてから、献血登録室で献血登録を実施。受け取った献血登録票を提出して下さい。万が一献血登録を漏れしている場合は受付窓口を直接訪問して下さい。

④献血登録票の提出

献血登録票の提出項目

検査	検査項目
HBV	HBs抗原、HBc抗原、HBAg
HCV	HCV抗原、HCVコア抗原
HIV	HIV抗原

献血登録票の提出方法

献血登録票の提出方法

2. 輸血直後

感染症検査案内を配布

●説明のタイミング

・直後：臨床検査技師

・退院指導時：看護師

●内容

・案内の内容を説明

・3か月後に案内状を送付すること等

輸血直後から3ヶ月

受け取った患者さん

の検査結果

分析した結果…

フォローできなかった8名全員、他院や施設へ転院
(自宅退院ゼロ)
転院後、フォローしただろうか?
結果はどうだったのだろうか?
↓
転院先に聞きにくい…
患者からも返事がない…
↓
もしかしたら他の施設も同じような悩みを
持っているかもしれない!



今後の課題

- ・患者さん任せにしない
転院を依頼する側も受ける側も、輸血後感染症検査依頼を
しっかり相手に伝えることが重要！(病院と病院の連携)
- ・院内での周知徹底
医師、看護師と輸血部門の連携
- ・フォーマットの統一
施設ごとにバラバラの形式では、医師、看護師が輸血後
感染症検査依頼文書であることに気づかない場合もある。
どの施設でも同じようなフォーマットにしたほうがいいの
では？

当院での対応



ご清聴ありがとうございました



輸血後検査率向上への取り組み

- 当院から他院や施設へ転院した場合
- ・主治医からの紹介状に輸血歴、3ヶ月後の感染症
検査依頼、結果が出たら当院へ報告してほしいと
いう旨の記載
- 他院から当院へ転院してきた場合
- ・フローチャートに沿ってできるよう輸血部会での
周知徹底
 - ・輸血部会ニュースにて対象部署全員への周知